

海外の話題

暑くて、騒々しくて、せわしなくて、空気も汚れているけれど 香港は世界有数の長寿地域

農林中央金庫 香港駐在員事務所長 田辺 徹也

香港だからといって長者番付の話ではない。長寿の方である。

もちろん香港は、先進国として、また長い間紛争や戦争にも巻き込まれていないため、人々がある程度長寿であることは想像がつくが、今年の統計によれば、香港の平均寿命は、女性では日本に次いで世界第2位（以下、フランス、スイス、イタリア）、男性でもアイスランドに次ぎスイスと並ぶ2位で4位の日本を上回っており（5位はスウェーデン）、総合的には世界一といってもいい水準にある。昨今スポーツや経済におけるアジアでの日本の地位低下が指摘されているが、平均寿命の面でもうかうか出来ない状況だ。

一般的に長寿国といえば、穏やかな気候、ストレスのない暮らし、綺麗な空気においしい水、ヘルシーな食習慣といった、いわば「アルプスの少女ハイジ」のようなイメージがあるが（現に上述の通りスイスは長寿国）、一方、香港はと言えば、高温超多湿で、街は人で溢れ返り、溢れる人々は大声で有名な香港人であるので当然喧騒が溢れる。また人々はせっかちで早足なうえ、時間節約のためか、カップラーメンとかを歩きながら街中で食べる人もいて、せわしない事この上ない。大気汚染も深刻な問題で、特にこの季節は北風に乗って流れてくるスモッグの影響で香港自慢の百万ドルの夜景も連日霞みがち。さらに空気中には結露せんばかりに水分が含まれているのに、水の供給の多くは中国本土に頼っているとされ、かつ水道管の老朽化等もあり、水道水は飲まないほうがよいとも言われている。

そんな、ハイジなら卒倒しそうな環境であるにもかかわらず、何故ここまで長寿なのか？ 至極もっともそうな理由としては、医療体制の充実や低い喫煙率といったことが挙げられるが、これらは先進国にはほぼ共通する事柄であり、そうした国々の中でも抜きん出ていることの理由付けについては、香港人の間でも諸説紛々のようだ。例えば薬膳を含む中国料理、特に香港人が大好きな各種スープ（高価なものに限らない）や中国茶が身体に良いとする説、香港人はあまり酒を飲まないためという説、別居していても子や孫と頻りに会ったり一緒に食事をするなど高齢者が大切にされている一方で、高齢になってもよく動く、よく働く、よく喋るからという説、などなど。

結局香港人が好きなものや好きな習慣はおおよそ長寿に貢献するという、なんとも都合のいい説明で苦笑を禁じえないが、現に高齢者への調査では大多数が日々楽しいと感じているようで、結果として皆太く長く生きているのだから、一考の余地はありそうだ。翻って、日本を見てみると健康管理に関しても、メタボ云々を始めとして、あれ駄目これ駄目とやたら禁欲的に過ぎるのではないかと思われ、一事が万事でそうした過度にネガティブなアプローチが日本人の元気を奪って、いろいろな面での我が国の閉塞感に繋がっているのではないか、とついネガティブに考えてしまうのである（ちなみに私自身は、健康に良いはずの中国料理によるメタボ・スパイラルが進行中で、もう少し禁欲的になるべきであるが…）。